

北 翔



2016 新年号

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

も く じ

ごあいさつ 北海道知事	高橋はるみ	1
札幌市長	秋元 克広	2
(公社)全国ビルメンテナンス協会 会長	一戸 隆男	3
(一社)北海道ビルメンテナンス協会 会長	山田 春雄	4
ビルメンヒューマンフェア'15 in 北海道		5
東北・北海道BM協議会 (札幌市)		6
第53回優良従業員表彰式		7
平成27年度労働安全衛生大会		9
平成27年度労働災害防止論文 入選作品		17
平成27年度労働災害防止標語 入選作品		22
各地区協議会トピックス		24
新会員紹介		29
ビルメンひろば		30
編集後記		33
広 告		34

表 | 紙 | 写 | 真



● **新青森～新函館北斗間**
平成28年3月26日
開 業



北海道庁 北海道新幹線のPRページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/skt/index.htm>

北海道新幹線 (JR北海道) PRページ
<http://hokkaido-shinkansen.com/>



年 頭 所 感

北海道知事

高 橋

はるみ

新年明けましておめでとうございます。

お陰をもちまして、私が北海道知事として4期目の舵取りを担わせていただいてから、初めての新春を迎えることができました。道民の皆様には、平素から道政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、北海道博物館のオープンやアポイ岳の世界ジオパーク認定など、自然や文化をはじめとした本道の魅力を積極的に発信するとともに、ドクターヘリの道南圏への導入・十勝圏への運航拡大や防災・減災の視点に立った社会資本整備の計画的な推進など安全・安心の確保に努め、さらに、社会の活力を支える女性の方々が一層輝き、将来を担う子どもたちがその可能性を發揮できる環境づくりなどの取組を進めてまいりました。そして、本道の最大の強みである食と観光の分野においては、高い目標を掲げた上で、ミラノ国際博覧会をはじめ国内外での北海道ブランドの積極的なPRや新千歳空港の深夜・早朝時間帯の発着枠拡大など、全庁を挙げて取り組んできたところであり、将来に向けて力強く歩みを進めることのできた一年であったと考えています。

道政の重要課題である人口減少問題については、道民の皆様と認識を共有し、北海道の総力を結集して、総合的・計画的に施策を推進するため北海道創生総合戦略を策定しました。この

総合戦略や来年度からスタートする新たな総合計画のもと、本道において、人を育て、地域を創り、人を呼び込むための取組を進め、幅広い世代の皆様が豊かに暮らし続けることのできる北海道の実現に力を注いでまいります。

また、TPP協定交渉の大筋合意やロシア200海里水域におけるさけ・ます流し網漁業の禁止という、農林水産業をはじめ地域産業への影響が懸念される課題に直面しました。道として、政府に対し万全の対応を求めるとともに、今後とも、本道の一次産業が確実に再生産が図られ、地域経済が持続的に発展するよう、しっかりと取り組んでまいる考えです。

本年3月26日、ついに道民の夢・北海道新幹線が開業します。

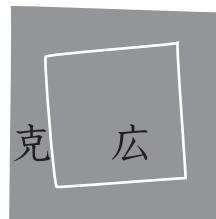
私たちの前に広がるこのチャンスを確実にとらえ、東北地方をはじめ首都圏や北関東などとの交流を更に拡大させ、その効果を全道に波及させていくことが、北海道の新時代を切り拓く上で、何より重要であると考えています。

私は、北海道新幹線の開業を大きな盛り上がりの中で迎え、子どもたちをはじめ道民の皆様にとって輝かしい記憶に残る一年とするため、全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年 頭 所 感



札幌市長

秋元

克 広

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私は、“人を大事にする”ことを原点に掲げ、昨年5月に札幌市長に就任いたしました。市民・企業・行政が手を取り合って地域の課題を解決していく「徹底した地域主義」によるまちづくりと、職員一人ひとりが自らの中に持っている「市民感覚」を大切に行政運営を心掛けてまいります。

そして、私が描く「誰もが安心して暮らし、生涯現役として輝き続ける街」、「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という2つの札幌の未来を目指してまいります。

12月には、その実現に向けた「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」をとりまとめました。この計画は「雇用を生み出す力強い街」、「女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街」、「いつまでも安心して暮らせる街」、「魅力と活力にあふれた暮らしやすい街」という4つの重点課題を柱として、約700もの事業をまとめたものです。

就任2年目の今年は、策定した計画を着実に実行へ移す一年としてまいります。

まず若い世代が安心して働ける雇用の場を確保するため、様々な業種にその効果が波及する観光産業の活性化を図ってまいります。おもてなし意識の醸成や事業者のサービスアップを支援するとともに、増加する外国人観光客の受入環境の整備やMICEの推進に力を注いでまいります。

また、社会全体で子育てを支える仕組みを整

えることも重要です。仕事と暮らしが調和したライフプランの実現に向け、育児休業を取りやすい環境づくりなどの取り組みを強化いたします。さらに、札幌の未来を担う「さっぽろっ子」の育成のため、子どもたちの学習意欲や論理的思考力を高める学習の機会を一層充実させるほか、生まれ育った環境に左右されることなく、自ら未来を切り開いていけるよう、しっかりと支援してまいります。

札幌は、充実した都市機能と豊かな自然を兼ね備え、多くの市民から愛される街です。一方で、人口減少や超高齢社会の到来、公共施設などの都市基盤の老朽化といったソフト・ハードの両面に困難な課題を抱えてもおります。しかし、私はこれを街の魅力をさらに高めるチャンスであると捉えています。

今こそ、高齢社会や省エネルギー社会など、これからの時代に対応した街に変えていくために、市民・企業・行政の総力、いわば「市民力」を結集し、北海道や道内市町村ともしっかり手を携えるときです。「オール札幌」、「オール北海道」で課題の解決に取り組み、世界都市としての魅力と活力を創造し続ける“まちづくりの好循環”を形成することで、必ずやこの難局を乗り越えられるものと確信しております。

先人達が築き上げてきた、私たちの愛してやまないこの街を、さらに豊かな形で次の世代に引き継いでいくため、全力を傾けてまいります。どうか今年も皆様のお力添えをお願い申し上げます。



年頭所感

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

会長 一戸 隆 男

明けましておめでとうございます。

皆様には、明るい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、数々の全国協会事業にご理解とご協力を賜りありがとうございました。特に、9月に札幌で開催されました“ビルメンヒューマンフェア”と併設された“アジアビルメンテナンス大会”には、多くの皆様のご参加をいただきまして誠にありがとうございました。また、フェアを全面的に担い、見事成功に導いていただきました北海道協会の会員並びに役員職員諸氏には、心より感謝を申し上げます。

さて、“少子高齢化”の文字が象徴的に言い現わしている通り、日本の経済社会は現状維持さえ、極めて難しい時代に差し掛かっています。身の丈に合った経済社会などと言われますが、縮小再生産で経済が成立するはずもありません。その数字は小さくとも、拡大再生産を続けなければ持続可能な社会は保ちようがありません。私たちのビルメンテナンスという産業は、確かに新たな価値を生産する産業ではありませんが、生み出された価値を保持するという意味で、社会にとってはなくてはならない産業に属しています。既存の価値を廃棄しても、それを凌駕する生産活力を夢見る時代は過去のものであります。既存価値の廃棄分をできるだけ少なくしながら、新たな価値を加えてプラス成長を続けていく社会経済構造への転換が迫られています。既存価値の廃棄分を少なくするということは、建築物で言えば、ストックの耐久性向上や有効利用の開発を意味し、ハードとソフト両面から既存価値を生き返らせ、長寿命化することであろうと存じます。ビルメンテナンスはそのような時代であるが故に、比較的有利な産業的位置が与えられていると思います。課題は、その位置を獲得することであり、獲得するための戦略を持つことです。即ち、時代が求める（ユーザーが求める）ビルメンテナンスの産業的位置をどのように描くか、そこで描かれた位置に現状を近づけていくために、どのような方法をとるか、どのような技術や人材を確保するかなど戦略的構想に関する追求だと考えます。このような時代的要請にビルメンテナンスが応えていくために、全国協会及び都道府県協会はこぞって多方面の支援を会員に対して行っていく必要があると考えています。昨年総会では全国協会事業をこの方向にシフトさせ、委員会及び事務局などの組織もこの方向で再編いたしております。結果はもう少し先になると思いますが、直面する事業もこの方向に合わせられるような展開を図って参りたいと考えます。

公共工事品質確保法に基づく“ビルメンテナンス業

務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン”の目的は、品質確保による建築ストックの長寿命化にあり、その要請に応じて初めて適正価格の実現があることを肝に銘じておく必要があります。昨年で4年目を迎えた官公庁の発注担当者、保全担当者を対象とした“保全業務マネジメントセミナー”の盛況は、品質と価格のバランスを取ろうとする発注者の願望を言い表しています。エコチューニシグ・ビジネスモデルの確立は、CO₂削減・省エネルギー・経費削減のユーザー要請を実現することであり、そのためには設備管理の運営技術の向上、マネジメント手法の蓄積を不可避としています。このビジネスへのニーズは民間だけではなく、官公庁にもあること、そしてどれだけの技術提案ができるかが鍵になってくると考えられます。

ビルクリーニング技能検定の複数等級化やインスペクター資格制度の変革は、企業への技術支援であるとともに、その資格が品質確保に役立つものとして社会に受け入れられていくことを目的にしています。ビル設備管理技能士などとともに、ビルメンテナンス固有技術のエキスパートとして、ユーザーが求めるような資格にして参りたいと存じます。

海外実習生の受け入れについては、国の制度がどのようになっていくかに左右されますが、会員支援事業と位置づけ、同時に送り出し国への技術移転と考えております。企業にとっては労働力の助けになるものとして位置付けられると思いますが、協会としては技術移転も含めて海外の経営・人的資源の活用という将来課題も見据えながら取り組んで参りたいと思っております。問題はやはりすでに厳しい現状にある雇用問題であろうと存じます。高齢者雇用や女性労働力も含めて、雇用力を強化していく方策を検討して参りたいと存じます。

いよいよ今年は、全国協会50周年の節目の年になり、4月4日から3日間、世界ビルメンテナンス大会が開催されるとともに、夏には50周年式典などが予定されております。予測したわけではありませんが、半世紀節目の平成28年が、名実ともに節目になろうとしています。47都道府県協会を含む全国協会組織の発展的未來は、過去の経験値に依拠して実現できるものではなく、未來の目標値に向かう覚悟と意欲によって初めて達成されるものと考えます。是が非でも、平成28年をそのスタート地点にしていけるよう、会員の皆さまと心をつなげて挑戦して参ります。協会事業に、倍旧のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。



年頭のご挨拶

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

会長 山田 春 雄

新年明けましておめでとうございます。
平成28年の輝かしい幕開けにあたり謹んで
お慶び申し上げます。

さて、昨年9月15～16日の2日間に亘って札幌市で開催しましたビルメン ヒューマンフェア'15 in 北海道につきましては、爽やかな秋晴れのもと、基調講演、各種セミナー、ビルクリーニング技能競技会、障がい者支援実演会、ベスト・インパクト受賞者発表会、懇親会（アジア大会歓迎レセプション）など予定のプログラムを、全国協会の会員をはじめ、関係行政機関、後援団体、協賛団体、出展企業など関係各位の絶大なるご支援とご協力により、無事終了させていただきましたことに対しまして、心から厚くお礼を申し上げます。

また、合せて開催しましたアジアビルメンテナンス大会、親睦ゴルフ大会にも多くの方々にご参加いただき、盛会裡に終了しましたことに重ねて感謝を申し上げます。

お陰様で、出展企業等につきましては、80社170小間と予定数を上回るとともに、ご来場者につきましても、2日間で延べ14,500人とほぼ目標数を達成することができましたことは、ひとえに、皆様方のビルメンフェアに対する暖かいご理解とご支援の賜物と、深く感謝を申し上げます。

今後とも、当協会は、「ビルの快適空間の向上を目指して～創意と情熱、未来へ新たな一歩～」を命題にして、会員が一丸となって率先励行してまいりますので、関係各位のご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。

この度のビルメンフェアを契機に、更なる飛

躍を目指すところですが、当フェアに合せて実施しました「東北・北海道BM協議会」において、東北6県と北海道の各協会長による「災害時における相互協力に関する協定書」を、一戸全国協会会長のご立会の下で締結しました。

その内容は、地震等の大規模災害が発生した時に、両地区本部が連携して、避難所等の清掃や消毒、また、清掃用具や消耗品などの支給について相互に協力することとするものです。

このような協定書の締結は全国で初めてですが、今後、地元自治体等とも災害時における協定について進めていかなければならないと考えております。

また、ビルメン業界にとって、昨年、厚生労働省が示した「品確法」の改正に基づく「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン」について、対象となる発注者が確実に履行することを期待するとともに、地方自治体などにも波及するよう、全国協会や全国政治連盟と密接な連携を図りながら、要望活動を進めていく必要があると考えております。

特に、「適正利潤の確保のための予定価格の適正な設定」や「ダンピング受注を防止するため、低入札価格調査基準又は最低制限価格を設定するなどの措置を講じ、当該制度を適切に活用する。」ことについては、当業界の将来に大きく影響を与えるものでありますことから、新春に当たり「未来への新たな一歩！」と位置付け、会員が一丸となって邁進してまいりたいと考えておりますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

ビルメンヒューマンフェア'15 in 北海道 開催

「北の大地北海道からビルの快適空間の向上を目指して ～創意と情熱、未来への新たな一歩!～」をテーマに9月15日から16日に亘り札幌コンベンションセンターで開催し、2日間で延べ1万4,500人のご来場をいただき盛会裡のうちに終了しました。

主催：(公社)全国ビルメンテナンス協会・(一財)建築物管理訓練センター

主管：(一社)北海道ビルメンテナンス協会

初日は、午前10時から開会式・テープカットで幕が開き、80企業・団体（計170小間）が参加したビルメンテナンス総合資機材展、ビルメンブックマート、北海道物産展・フードコートがオープンし、恒例のガラスクリーニング選手権、基調講演、第4回障がい者支援実演会、第5回ベスト・インスペクター受賞発表会・表彰式、テーマ別セミナーなどが終日開催されました。夕刻には会場を移してフェア懇親会・アジアビルメンテナンス大会レセプションが催されました。

翌2日目の午前には、5回目となる「アジアビルメンテナンス大会本会議」（主催：アジアビルメンテナンス連盟、主管：全国協会）も併催行事として開催され、第14回目となる全国ビルクリーニング技能競技会は、22名の選手たちが日本一を目指し、熱戦を繰り広げました。

2日間にわたり天候にも恵まれ、4時30分からの競技会表彰式、続く閉会式をもって滞りなく終了しました。

ご参加の皆様、出展企業様はじめ、フェアに御協力いただいた方々にお礼を申し上げます。



開会式テープカット



開会式 参加者



開会式 会長あいさつ



道協会役員 開会式にて

東北・北海道 BM 協議会（北海道札幌市）

本年度は9月15日開催のビルメンヒューマンフェア'15 in 北海道の開催日程に合せ9月16日から17日に亘り、札幌コンベンションセンターで開催しました。

会議は、北海道協会及川事務局長の司会進行の下、道協会逸見副会長の開会の言葉で始まり、伊藤英明全国協会東北地区本部長が「東日本大震災では我々は広範囲において災害を受けたわけだが、年月が経ったことにより最近では記憶の風化に繋がり、今でも避難生活で心の痛手が癒えない方々おられるが、日々の暮らしに追われる中で、そうした記憶が薄れていると実感している。」と今回の協議会で「災害時における相互協力」を議題にした理由を説明した。続いて山田春雄全国協会北海道地区本部長が「毎年3月になると東日本大震災のことを思い出されるわけだが、つい1週間前にも宮城県の方で洪水災害

があったばかり、私たち北海道の人間も、こうした悲惨なことは忘れてはならないと思っている。」と語り、災害に対する協力体制の必要性を訴えた。会議は、山田北海道地区本部長が座長を務め「災害時における相互協力」について、各道県協会の代表者が課題や対応策を発表した。

東北各県から、災害当時の困窮状況、各県での個々の課題が述べられた。

この問題は、東北と北海道だけの問題ではなく、全国どこでも起きるわけで、全国協会でも身を詰めていき、今後少しずつ色濃くしていくことを約束し、各道県協会会長が署名し、一戸隆男全国ビルメンテナンス協会会長の立ち会いの下、伊藤東北地区本部長と山田北海道地区本部長が固い握手を交わし、「災害時における相互協力に関する協定書」を全国で初めて正式に調印した。その後、道協会石田 信副会長が閉会の辞を述べ閉会した。



会議の模様

第53回 優良従業員表彰式

平成27年12月10日(木)15時45分より、京王プラザホテル札幌で、ご来賓、企業代表など多数のご出席をいただき、開催しました。

平日開催は本年度で6回目になりますが、会員企業において、日ごろの清掃や設備管理業務等に精励し永年の努力が認められた優良従業員91名と、当協会が募集した平成27年度労働災害防止論文・標語の入選者9名の方々です。表彰の榮譽に輝いた皆様に心からお祝い申し上げます。

表彰式は3階「雅の間」で行われ、開会の辞を岡田副会長、山田会長の式辞、ご来賓の北海

道知事 高橋はるみ（代理 八木健太 保健福祉部健康安全局食品衛生課長）、札幌市長 秋元克広（代理 石田宗博 札幌市保健福祉局保健所生活衛生担当部長）にご祝辞をいただき、ご来賓の紹介・祝電の披露があり、その後、優良従業員一人ひとりが紹介され受賞者を代表してテルウェル東日本(株)北海道支店木村哲子さんに表彰状と記念品が授与され、労働災害防止論文・標語入選者へ表彰状、記念品が手渡されました。

引き続き、受賞者を代表し日興美装工業(株)の碓井百壽さんから謝辞があり、石田副会長の閉会の辞にて表彰式は滞りなく終了し記念撮影後、3階「扇の間」にて祝賀会が催されました。



岡田副会長 開会の辞



来賓席



優良従業員 受賞者の方々



受賞者代表 木村哲子さん（テルウェル東日本(株)北海道支店）



謝辞 受賞者代表 碓井百壽さん（日興美装工業(株)）



石田副会長 閉会の辞



第53回 優良従業員受賞者



平成27年度 労働災害防止論文・標語入選者

平成27年度 労働安全衛生大会

(一社)北海道ビルメンテナンス協会主催で厚生労働省北海道労働局の後援を受けて開催した労働安全衛生大会は、全道8地区で総勢185社、564名と多くの参加者を得ました。また、厚生労働省北海道労働局長 田中 敏章 様のメッセージを各開催地で紹介しました。

【メッセージ 要旨】

平成27年度一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会労働安全衛生大会が、盛大に開催されましたことにつきまして、心からお祝い申し上げます。

これも、北海道ビルメンテナンス協会長をはじめ、役員の皆様及び会員事業者、労働者の方々の、日頃からの労働災害防止に対する熱意の表れであり、改めて敬意を表する次第です。

また、ビルメンテナンス業に携わる皆様方におかれましては、労働者の安全と健康確保対策など労働安全衛生行政の推進につきまして、日頃より格別の御理解と御協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、北海道内の平成27年9月末現在の労働災害発生状況をみますと、休業4日以上之死傷者数は対前年同期に比べ75人、1.8%の減少となっておりますが、死亡者数は47人と対前年同期に比べ2人の増加となっております。

ビルメンテナンス業における平成27年9月末現在の労働災害で本年5月に移動はしごを立て掛けて窓ガラス清掃作業中に体勢を崩し約4m下の地面に墜落した死亡災害が発生しており、休業4日以上之死傷者数は147人と、13人、9.7%の増加となっております。災害の内容をみます

と、床や通路等での転倒が48.3%、はしごや階段等からの墜落・転落が23.1%となっており、これらの労働災害防止対策を一層推進することが重要であります。

平成25年からの第12次労働災害防止計画が3年目となりました。北海道労働局では、平成24年と比較して平成29年までに①死亡災害の撲滅を目指して死亡者の数を20%以上減少させる。②休業4日以上之死傷者の数を15%以上減少させる。という2つの大きな柱の目標達成に向けて、第三次産業にも焦点を当てた対策を、関係団体の皆様とともに強力に推進しています。

ビルメンテナンス業につきましては、業務が多岐にわたっており、「高年齢労働者が多いこと」、「就業する場所が顧客の施設であること」、「就業場所が分散し、かつ少人数で就労すること」など業界特有の課題があります。

本大会を契機として、経営首脳の方々が率先して安全衛生教育、危険予知活動やリスクアセスメントなど、安全衛生活動を展開し、労使一体となった取組を進められ災害ゼロをめざしていただくよう強く期待いたします。

結びに、一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会の御発展と、会員事業場の更なる御繁栄並びに御参会の皆様のお健勝を祈念申し上げます。

今回は、労働安全衛生大会開催に合せ、道協会岡田副会長が、7地区協議会（北見・十勝・釧路・室蘭・苫小牧・函館・旭川）で、本年6月10日に通知された改正品確法に伴う「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン」について、改正ポイント、業界にあたる影響について講演しました。

1 北見地区大会

- (1) 10月6日(水)13:30～「ホテル黒部」にて28社94名が参加し、紅屋事務局長の司会進行で始まり、北見地区協議会 田辺会長の開会挨拶、主催者として道協会 左海労働安全衛生委員長より日頃の協会活動協力への感謝と労災事故撲滅への取り組みについて、より一層の協力をお願いする旨の挨拶がありました。最後に地区協議会 小林副会長の閉会挨拶があり、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講演……北見労働基準監督署 安全衛生課長 山田 裕様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止等について」と題して、全産業・北海道の労働災害状況は、減少傾

向であるが、ビルメンテナンス業は200件前後で推移しほぼ横ばいである、北見管内の状況では本年1月～8月までの集計で10件報告（前年1件）があり、これは異常な増え方であり、業界全体で改善に向けた取り組み、リスクアセスメント等を推進してもらいたい。また、災害事例の解説では、ガラス清掃時の転落、洗剤の混合による有毒ガス発生、貯水槽内での硫化水素などの解説があり、法改正では、ストレスチェック制度を解説いただきました。安全衛生教育・訓練を充実させ、災害事例などを共有し、安全対策を一人ひとりが日々実践する事が大切であるとお話がありました。



田辺地区協議会長 開会挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



北見労働基準監督署 山田安全衛生課長の講演



労働安全衛生大会 参加者



岡田副会長の講演



小林地区協副会長 閉会挨拶

2 十勝地区大会

- (1) 10月14日(水)13:30～「とちか館」にて17社44名が参加し、十勝地区協議会飯田事務局長の司会進行で始まり、後藤会長の開会挨拶、主催者として道協会左海労働安全衛生委員長の挨拶で開催しました。講話終了後、地区協議会平塚副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い労働安全大会を

閉会しました。

- (2) 講演……帯広労働基準監督署 安全衛生課長 小田島 暁様が「労働災害防止について」と題して、帯広管内の災害状況統計の解説をいただき、全産業、ビルメンテナンス業で一番多い転倒災害の防止を減少させることが一番の改善活動であり、冬季期間、

まさに12月から4ヶ月が転倒事故が多発する時期であり、厚生労働省のインターネットサイトで“転倒災害防止”に特化したページを公開しております。これらを参考にいただき参加企業・業界全体で真摯に取り組むことが、災害減少の近道である。

また法改正では特別教育が義務化された「ロープ高所作業」や、「ストレスチェック」の実施について詳しくポイントの解説があり、リスクアセスメントを推進し、事前に危険の程度を認識し行動することで災害防止、減少に努めましょう。



後藤地区協会長の挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



帯広労働基準監督署 小田島安全衛生課長の講演



労働安全衛生大会 参加者



岡田副会長の講演



平塚地区協副会長の閉会挨拶

3 釧路地区大会

- (1) 10月15日(水)13:30～「釧路市交流プラザ さいわい」にて22社48名が参加し、釧路地区協議会本田事務局長の司会進行で始まり深井会長の開会挨拶、主催者として北海道協会左海労働安全衛生委員長の挨拶で開催しました。

講話終了後、釧路地区協議会 堀江氏の閉会挨拶、参加者全員で労働災害の撲滅を誓い、労働安全衛生大会を閉会しました。

- (2) 講演……釧路労働基準監督署 安全専門官 佐藤憲司様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、労働災害の発生状況、ガイドライン・リスクアセスメントなどの講演をいただきました。冒頭“1週間前の夕食の献立”を覚えていきますかと、参加者に問われ、人の記憶の曖

昧さを指摘され、釧路管内の労災の現状と事故の型・起因物・年齢・時間帯・発生月の解説、50歳以上の労働者の構成が高く、原因の1つとして加齢による身体能力・判断力の低下などを指摘された。事故の型で一番多い転倒災害は、12月から4ヶ月（冬季）が多発する時期であり転倒災害を減少させることが参加企業・業界災害減少の近道である。また発生のポイントとして・時間がない・お金がない・人がいない・何もできない、「ない」という言い訳をつくらぬ職場（現場）にすること、リスクアセスメントを推進し危険が「ない」から「ある」の『気づき』の安全活動が災害防止・減少の近道であり大切であるとのお話がありました。



深井地区協会長 開会挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



釧路労働基準監督署 佐藤安全専門官の講演



労働安全衛生大会の参加者



岡田副会長の講演



釧路地区協議会 堀江氏 閉会挨拶

4 室蘭地区大会

- (1) 10月19日(月)13:30～「ホテル サンルート室蘭」にて8社66名が参加し、室蘭地区協議会中川事務局長の司会進行で始まり、安藤会長の開会挨拶、主催者として道協会左海労働安全衛生委員長の挨拶で開催しました。
- 講話終了後、室蘭地区協議会の高橋副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講演……室蘭労働基準監督署次長 新田武志様が「ビルメンテナンス業の労働災害発生状況と安全衛生確保について」と題して、管内の災害状況解説、また、災害事例では、「移動はしごで、ふき取り作業中転落」、「洗剤の混合による塩素ガス中毒」の詳細

な説明があり、化学物質に係るリスクアセスメント（概要説明）で安全データシート（SDS）を常時作業場の見やすい場所に掲示、備え付けし労働者に周知するようお願いがあり、厚生労働省の「STOP！転倒災害プロジェクト2015」の説明では、職場（通勤含む）での転倒の危険性は働くすべての人が問題意識をもって原因を見つけ、対策をとることで減らすことができ、災害傾向、経験年数・年齢区分の解説があり、安全衛生確保として、作業者の不安全行動をなくす、「知識・技術・態度」の教育、現実的な安全管理体制が必要と、配布資料をもとにお話しいただきました。



安藤地区協会長の開会挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



室蘭労働基準監督署 新田次長の講演



労働安全衛生大会 参加者



岡田副会長の講演



高橋地区協副会長 閉会挨拶

5 苫小牧地区大会

- (1) 10月20日(火)13:30～「苫小牧市民会館」にて10社45名が参加、苫小牧地区協議会水野事務局長の司会進行で始まり、阿部会長の開会挨拶、主催者として道協会左海労働安全衛生委員長の挨拶で開催しました。講話後、苫小牧地区協議会 佐藤理事の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講演……苫小牧労働基準監督署次長 河合博文様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、北海道の

災害状況、ビルメンテナンス業の災害状況・推移・統計をもとに説明。災害は各年200件前後で推移し減少改善が見られない状況。ビルメン業の特徴として、高年齢者・臨時雇用者の割合が高く、就業は少人数、就業場所が顧客の施設で作業環境の安全化には顧客の同意が必要であり、特別な工夫を行う必要がある。法改正関連では、「ストレスチェック」、「ロープ高所作業」のお話があった。



阿部地区協会長 閉会挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



苫小牧労働基準監督署 河合次長の講演



労働安全衛生大会 参加者



岡田副会長の講演



佐藤地区協理事 閉会挨拶

6 函館地区大会

- (1) 10月23日(金)13:30～「函館五島軒本店」にて30社81名が参加し、函館地区協議会野戸監事の司会進行で始まり、阿相会長の開会挨拶、主催者として道協会左海労働安全

衛生委員長の挨拶で開催しました。
また函館労働基準監督署 濱田京子署長より、来賓のご挨拶をいただきました。

【ご挨拶の要旨】

日頃の労働安全衛生活動に敬意を申し上げます。本年9月現在ビルメンテナンス業の死傷者数は、北海道全体・函館署管内ともに前年より、増加傾向にあります。ビルメンテナンス業の労働災害では転倒災害が半分をしめており、管内の労災請求では、手首、足首、骨盤骨折と治療に最低でも3ヶ月、長ければそれ以上かかることもあります。

転倒災害は、本人の不注意で片づけがちですが、北海道労働局では昨年より“転倒災害に特化した取組み”を本格的に始めたところがあります。転倒災害の分析をしていただき、リスクの低減に結びつく取組みをお願いしたい。2番目に多い災害は、墜落・転落災害であります。今年道内のビルメンテナンス業で2階建ビルのガラス清掃で、はしごから4m下に転落した死亡災害がありました。墜落・転落事故は、頭や身体を強く打ち死亡を含め

重篤事故をまねきます。来年1月1日より「ロープ高所作業」の労働安全細則改正が施行されます。また衛生関連では本年12月1日より「ストレスチェック制度」も始まり、函館署管内では9月より説明会を実施しております。最低賃金は10月8日より764円に改定になりました。

さて、本日は大変良いきれいな青空の日ですが、しかしこれから、積雪・凍結・寒冷等による“車輻”・“人”に厳しい時期が、あつと言う間に来ます、冬季特有の事故をなくすため、人が季節に合せ身なりを見直すと同じように、“車輻”を含め準備し、災害低減（ソフトランディング）をしましょう。

これから年末に向け“死亡ゼロ”“労働災害ゼロ”を目指し経営トップが先頭に立ち安全活動を展開していただきますようお願い申し上げます。「ご安全に」

講演終了後、函館地区協議会の南副会長より閉会の挨拶があり、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。

- (2) 講演……函館労働基準監督署 安全専門官 瀬戸神津太郎様より「ロープ高所作業の労働安全衛生規則改定について」と題し、労働災害発生状況で事故の型別、男女別、起因別、北海道管内のH16～H27.9までの発生状況（200件前後）で推移等、統計資

料に基づき解説いただき、ビルメンテナンス業での、転倒災害の傾向や注意点・改善策等を丁寧にお話いただき、脚立での転落を防ぐ“リーフレット”をもとに、注意点を改めてお話がありました。また北海道の最低賃金、健康診断の実施・推進・管理など幅広くお話しいただき、特に「ロープ高所作業」、「ストレスチェック」などの配布資料を基に詳しく解説いただいた。



阿相地区協会長 開会挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



函館労働基準監督署 濱田署長の来賓挨拶



函館労働基準監督署 瀬戸安全専門官の講演



労働安全衛生大会 参加者



南地区協副会長 閉会挨拶

7 札幌地区大会

- (1) 11月5日(木)13:30～「ビルメンテナンス会館」にて41社77名が参加し、札幌地区協議会 小林理事の司会進行で始まり、川口会長の開会挨拶、主催者として北海道協会左海労働安全衛生委員長の挨拶で開催しました。最後に、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講演……札幌中央労働基準監督署 安全衛生課長 鈴木 力様が「ロープ高所作業での危険防止のための労働安全衛生規則の改定について」と題して、パワーポイントを使用し災害統計(状況)の解説、特に札幌管内での清掃業の災害件数の推移が労災防止のポイント、安全管理体制の充実等を説かれ、また、災害事例では、過去10年間の死亡事故を解説いただいた。法改正では「ロープ高所作業」・「ストレスチェック」を配布資料を基に、ポイントを絞り、解り易くお話いただき、合わせてビルメン業界の、一番多い転倒災害の低減を、経営トップが率先し安全衛生教育に力を入れて、リスク・安全への意識を高め事故防止に努めるようお話がありました。
- (3) 講演……中央労働災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター 池田和博様より、「脚立・移動はしごによる作業の安全手順について」と題して、パワーポイントの資料で死亡災害で1番多い墜落・転落事故、高所作業(脚立・はしご)の危険の防止・安全手順・作業時の確認事項(不安全行動)・頭を守る保護帽(ヘルメット)など具体的なお話をいただいた。「1メールは命取る」
- (4) 講演……建設業労働災害防止協会北海道支部、理事・事務局長 田中秀樹様より「労働安全衛生法の改定にともなう足場の特別教育について」と題し講演をいただきました。皆さんは、足場(作業床)と聞かれ建設現場の組み立て足場を連想すると思いますが2脚の脚立に板を渡すとか、極端な例では、2箱のみかん箱の上に板を置いた状態でも法律上は、足場になりますと説明があり、本年7月1日施行のこの法律での特別教育機関は現在北海道では建設業労働災害防止協会だけと説明があり、但し、特別教育は各企業で、十分な知識を持った者が行い、実施記録の保管義務があると補足されました。



川口地区協会長 開会挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



札幌中央基準監督署 鈴木安全衛生課長の講演



中央労働防止協会 池田所長の講演



建設労働災害防止協会北海道支部 田中事務局長の講演



労働安全衛生大会 参加者

8 旭川地区大会

- (1) 11月10日(水)13:30～「北洋ホール」にて29社109名が参加し、旭川地区協議会小杉事務局長の司会進行で始まり、山田会長の開会・主催者挨拶で開催しました。受講後、旭川地区協議会木村進一副会長の閉会挨拶で、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講演……旭川労働基準監督署次長 高木俊介様が「労働災害の防止について」と題して、配布資料を基に、本年9月現在のビルメンテナンス業の災害状況における事故の型別の説明があり、大半をしめる転倒・転落（脚立）の防止推進が肝要であり、厚生労働省特別サイト「STOP！転倒災害プロジェクト2015」スローガン「～あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて～」について配布資料に基づき丁寧なお話があった。労働

安全衛生規則の改定では来年1月1日施行の「ロープ高所作業」をリーフレットを基に詳しく解説された。リスクアセスメントの推進が必要で、労安衛法では着用義務は無いが、安全面から三次産業でもヘルメット装着が望ましいと、必要性を説かれた。

- (3) 北海道道協会 山田会長より、安全講話「労働災害は人が起こすもの」と題して、身近な事例・故事のお話をいただき、ハインリッヒの法則「1/29/300」事故の割り合いを憶えるだけでなく、労災請求まで至らない小さなケガ“赤ちん・サビオ”等の災害を1つ1つ無くすため、原因究明・記録・対策を立て「小さなケガ」を無くすこと、また他人ごとにせず全員が「人は事故を起こす」と認識し、「ゼロ災害」を目指し取り組むことが、大切であるとお話がありました。



山田会長の開会・主催者挨拶



旭川労働基準監督署 高木俊介次長の講演



労働安全衛生大会 参加者



山田会長の講演



岡田副会長の講演



木村地区協副会長 閉会挨拶

平成27年度 労働災害防止論文 金賞

労働災害防止対策への提言

株式会社ベルックス 志賀良三

毎年雪の時期になると、一番気になることは転倒等による通勤災害が多く発生することである。他社事例を調べたことはないが、労災の通勤災害に関しては上期より雪の時期が含まれる下期が当社では多い。北海道全体でも同じような実態ではなかろうかと思う。

時節柄、朝早い出勤は気温も低く、路面が凍結していることも多い。そこに足を捕られ、転倒し足の骨折や庇い手による手首の損傷・骨折や打撲が過去からの事例として報告されている。

更に事故が起きているケースを分析すると

- ①除雪が不十分な朝方が多い。
 - ②家を出てすぐの場合が多い。
 - ③外の階段等家の周辺や横断歩道上が多い。
- という結果になる。

原因は幾つか考えられるが、

- ①十分にウォーミングアップをしないで急に寒い所に出た。
- ②厚着により体の自由が奪われていた。
- ③何よりも時間に追われる行動が一因になっていた。と素人ながら分析してしまう。

かく言う私も、以前妻が地下鉄ホームの階段で転倒し、労災認定を受けたことがある。

これも雪で階段が濡れていたにも係わらず、電車の乗り継ぎに急いだ為転倒し手首を捻ったものである。

痛い思いをし、職場や同僚、そして家族に迷惑をかける労災。特に通勤災害に関しては事有る毎に注意喚起はすれども、例年同じような事例が報告されるのは痛ましいことである。

例えは適切でないかも知れないが、雪道にな

ると車が坂道を登れなかったり、必死に止まろうとしていたり、追突しているのをよく見る。その多くは、制動の効かない古そうなタイヤを装着した営業の車が多く、タイヤさえ制動の効くものを装着していたらと残念に思う。雪に慣れない多くの観光客は雪道を歩く時に一番にすることは、滑り止め用バンドを靴に付けることだという。転ばぬ先の杖といったところである。

私たちは雪に慣れきっているため、雪道での「行動を起こした先にどのようなことが起こり得るか」を安易に考えてしまい、車にタイヤと同じく履物や服装を気にせず、それによって事故に結びついている件も多々あるのではないだろうか。個人で出来ることは限られるが、観光客のように少し自分に投資をして、安心を買う意味で「履物・服装・帽子等でケガを未然に防げる物」の用意も必要ではないだろうか。それにより防げる事故も増えてくると確信する。

次に職場で出来ることも多々あるが、防止の注意喚起は一年を通して常日頃からやっておくべきである。当社の職場では起きてしまった事故事例と注意喚起を毎月の給与明細に添付している所もある。各部所でも防止に向けた様々な取組みをしている。防止の一助になっていることは間違いない。

冬型事故の他、自分が注意していても、自転車等による貰い事故も多い。今更ながら一人ひとりが常にルールを守りマナーを守るという、極々当たり前の行動が一番に望まれる。

「継続は力なり・力は百の理屈にも勝る」
私の好きな言葉である。

平成27年度 労働災害防止論文 銀賞

声掛けから始まる労働災害防止

北海道クリーン・システム株式会社 今井克之

私は平成24年4月に函館支店に転勤になりました。函館支店に転勤する前は6年間、札幌支店に在籍し札幌駅の商業施設で警備業務に従事していました。

札幌で業務に従事していた頃は、労働災害防止という事柄は意識しても、業務に集中するあまり気持ちが薄れたり、疎かになるのが現実でした。函館という新しい赴任先で清掃業務や警備業務等の多岐に渡る業務に従事し、より一層労働災害防止への気持ちや意識改革に繋がる教訓を学びました。

この教訓を学んだのは函館支店に赴任になり、初めて配属になった函館駅営業所での清掃業務での経験でした。私は札幌にいる頃は警備業務のみに従事しており、函館に来て初めて清掃業務に従事しました。私自身、当初の先入観で清掃作業や清掃道具の操作はすぐに出来るだろうと安易に思っていました。実際に業務を行った際、数ヶ月はうまく行かなかったことを思い出します。

そこでうまく行かなかった頃、上司や先輩方に清掃作業や清掃道具の操作方法をいろいろと教えて頂きました。その清掃作業や清掃道具の操作以外に学んだのは『勤務者同士による危険箇所を見つけて声掛けする労働災害防止』のアドバイスでした。

函館駅営業所での従業員の多くは鉄道会社経験者のOBが在籍しており、諸先輩方が鉄道会社に在籍していた頃にあった受傷事故の話を多く聞きました。同僚が列車に接触し、身体に大怪我をしたことや最悪の場合、手や腕等が無くなったという痛ましい事故の話を聞きました。その見聞きした事故を起こさないため、諸先輩方は清掃業務に移っても常に意識を持って危険箇所を見つけたら同僚に声掛けをする習慣を持っています。

この危険箇所を見つけたら声掛けすることは案外、出来そうで出来ないのが現実です。『それくらいわかっている』や『経験者だから自分

は失敗しない』と互いに過信する経験はだれでも持っていると思います。ですが実際に事故を起こすと『なぜ、あの時、危険箇所を排除する努力をしなかった』と事故後に反省するのが事実です。

清掃道具はモップ等の柄を持つ道具からポリッシャー等の動力を用いた大型道具など様々です。場合によってはその道具の使用によっては自分自身への受傷事故にもなる道具にもなりますし、お客様や同僚への第三者被害にも繋がります。例えばバケツの水をこぼしたとしても、その水溜りを踏んで滑って転倒すること等の展開も考えられます。実際、清掃作業や種々の作業を行っている時に集中すると周りが見えなくなることはだれでもあると思います。人間の目は前にしかありません。例え視野を広くして周りに気を配らせても危険箇所に気づけないことは起き得ることです。その際に同僚が危険箇所に気づいたら『後ろの道具にぶつかる！』『コードを踏みそうだ！』と声掛けのアドバイスすることで受傷事故率も減って行きます。

『一人の目より複数の目を持って、そして互いに声掛けする』という危険性への共有することが労働災害防止になって行きます。

では一人作業の配置箇所では声掛けは出来ないで、どのように危険性を排除する努力をすればいいのでしょうか。

その答えは取引先にあった事故防止啓発ポスターの一句の『指先に意識を込めて指差喚呼』という言葉です。経験や慣れが生じると人間は過信や惰性に向かっていくことは少なからずあります。その時に作業開始から作業終了まで怪我や事故をしないという緊張感の意識を込めて作業することでも事故率は減ると思います。

自分は今からいろんなビルメンテナンス業務を行っていきます。職場内で言葉に出して労働災害防止の輪を広げ、そして自分自身は『打てば響く』という人間となり、会社内の労働災害を減らして行きたいと思っています。

平成27年度 労働災害防止論文 銅賞

ヒヤリハット体験と対応

北海道クリーン・システム株式会社 田村彰教

ヒヤリハット体験があったら、職場に報告し、それがまた起きないように対策を立て、同じ様なヒヤリハットを起きないようにし、事故防止につなげていく取り組みは現場で働く者にとって、助かる取り組みである。

私が勤める会社では、以前に発生したヒヤリハット情報は一覧表や、場所であるならば危険箇所として地図や図面に記し、注意喚起を行っている。このようにして、従業員が原因のお客様に対する事故や、従業員自身に起こる事故や怪我を未然に防ごうとしている。

私のヒヤリハット体験であるが、従業員用通路から売り場に出る為、売り場側へ押して開ける扉を開けたときであった。少しずつ慎重に開けていたのですがすぐ気づき事故にはならなかったが、たまたま扉の前に立ち止まっているお客様がいた。今回は事なきを得たが、対策として次の事を行った。

このヒヤリハット体験を報告し、それとともに、一覧表や危険箇所を示した図面に記載した。これにより、言葉での伝達だけでなく文字・図面で伝達できるようになり、全員の認知度が一層上がり、扉の開閉に注意する意識が高い状態が続いている。

この例だけでなく、他にもヒヤリハット等は発生する。そうすると、新しく発生した方に注意が向いてしまう。この新たに発生したヒヤリハット等を注意するのは当然である。

しかし、以前に発生したことを失念、時間の経過により忘れてしまい同じ様な事象を起こしそうになる。そのような時は、作成した一覧表や図面で再確認し、自分自身で注意喚起している。

このように継続して様々な所に注意を向けていると注意しながらの行動が通常の状態であるようになり、仕事上良い習慣が身に付くと考える。

この場所は普段と違う、あの辺りは危険箇所のようなものである等気付いたり、考えたり出来るようになり、事故・ヒヤリハットを減らしていけると思われる。

この作成したヒヤリハット一覧表や図面はほかにも、新人研修等にも使用して頂くことができると思われる。どの職場でも起こり得るものは、全員に、職場固有のものは、配属先で周知し、さらに、実際現場で場所等を確認することで理解・認識度の向上に役立つと考える。さらにこのような注意喚起により、事故・ヒヤリハット自体を起こしにくくなることも考えられる。

事故が起きると周りも大変であるが、実際には大変な思い、苦勞をするのは本人である。その本人にならないようにするためには、ヒヤリハットが起こったとき、そのままにするのではなく、報告・対策をすぐ行える職場環境が重要である。

このような環境を継続できるよう、事故は起こさない・起こさせない、の気持ちで日々業務に取り組む思いである。

平成27年度 労働災害防止論文 佳作

ヒヤリハット体験と対応

札幌施設管理株式会社 及 川 慎一郎

私は、札幌市営地下鉄で「駅設備保守管理」の業務を行っております。この仕事に携わって約10年になりますが、常に心掛けているのは、お客様の安全を第一に考えて作業を行うということです。

入社して数年過ぎた頃、作業をしている時にヒヤッとした経験があります。それは多くのお客様が行き来する駅のコンコースでのことでした。私はコンコース内にある換気機械室で荷物の運搬作業を行っており、換気機械室とコンコースを何度も出たり入ったりしておりました。すこし前まではお客様はいなかったから今回もないだろうという勝手な思い込みで、換気機械室の扉を開けてしまいました。するとそこにはお客様がいて、もう少しで扉がお客様にぶつかってしまうところでした。その扉は換気機械室側から外開きの扉で「開けるときは、お客様に注意をして安全をキチッと確認してから開ける」と先輩方に何度も言われていたにもかかわらず、お客様の安全確認を怠り扉を開けてしまいました。幸いお客様とはぶつからず事なきをえましたが、私は肝が冷えたのを今でも鮮明に覚えています。もしぶつかってお客様に怪我をさせてしまったことを考えると今でもゾッとします。そうになりましたらお客様に怪我を負わせてしまうだけでなく、会社の信用問題にも関わってしまいます。自分勝手な思い込みから色々な人に迷惑をかけ、今まで先輩たちが築き上げて

きた信用を、一瞬で失うところでした。「信用を得るには時間がかかるが、失うのは一瞬」と良く聞きますがまさにその通りだと思います。

今後外開きの扉を開けるとき、お客様の安全を考えどのようにしたらいいのか私なりに考えてみました。コンコースではお客様の通行の様子を観察しますと、壁すれすれに歩いている人はいなく、壁に沿って床に貼られているタイル(35cm)を空けて、それから中央よりを歩いている人がほとんどでした。色々試した結果、換気機械室の扉の厚み(約5cm)を考え、換気機械室側から各30cm、角度にして約25度開いてもお客様にぶるかる可能性は低いと判りました。安全を考え最初は15cm開き(角度にして20度位)それから30cm開き、お客様の安全を確認した後、完全に開けるという手順が一番良い方法であるという結論が出ました。扉には、「ドア開け注意! ドアの向こう側に、人がいるおそれがあり危険です」の注意書きステッカーが貼ってあります。扉を開く際は必ず注意書きを読み、自分で確認した方法で扉の開閉を行っています。

私は、この扉開閉でのヒヤリハットから、ほんの些細なことで、お客様への安全が失われ、それにより会社の信用を失いかねないと言うことを考えさせられました。今回の件に限らず、どんな仕事でも常に危険は潜んでいると考え、お客様の安全を第一に仕事を続けていこうと考えています。

平成27年度 労働災害防止論文 佳作

労働災害防止対策への提言

株式会社ベルックス 白井 義信

昨年、全国で発生した労働災害件数をご存知でしょうか。

労働災害統計によると、全業種合計で年間約12万件、単純計算で1時間当たり13件以上の労働災害が発生しているそうです。

何故これほどの件数が発生するのでしょうか？我々現場管理者が繰り返し注意喚起しているにもかかわらず……。

ある本によると、「人は目の前に迫った危機に対して、“自分は大丈夫”と楽観視する傾向がある」そうです。まさにこの“自分は大丈夫”という危機意識の低さが、年間12万件という数字に繋がっているのではないのでしょうか。

勿論、作業方法や手順の違いに起因する事故もありますが、その多くは「労災事故」を他人事として捉え、自分の目の前にある“危機”を見過ごしてしまっているのでは。

数字が示す通り、1時間に13回、凡そ5分に1回は自分の身に危険が迫っていることを、作業員自身に自覚させることが、事故を防止するうえで最も重要なことなのです。

我々は現場を訪問した際、ついつい「気を付けてね」と作業員に声を掛けます。でも、作業員自身は当然気を付けているのです。ただ、現場に潜む“危機”に気が付かず、事故が自分の身に振り掛かってくるなどと思ってもいなければ、

「気を付ける」意味がありません。

その「他人事」という意識を変え、事故は自分にも起こり得るんだと気付かせることが事故防止への近道ではないのでしょうか。

会社（上司）からの一方通行的な注意喚起では、事故防止効果はありません。むしろ、作業員側にしてみれば、会社が困るから注意しろと言われていたようなものです。

まずは「何故、労災事故を起こしてはいけないのか」を作業員にしっかり説明することです。困るのは決して会社だけではありません。「同じ職場で働く同僚」「突然、代務員として現場を移動する人」。そして何よりも事故に遭う自分自身が「痛い」思いをし、家庭生活にも不自由を来して、最終的には家族も困ることを教えて下さい。

そして、そうならない為には、現場で起こり得る様々な事故を想定し、その対策について一緒に考えることが重要です。

こうしてお互いの防災意識を高めることで、目の前に迫る“危機”が見えてくる筈です。

どんな機械も、どんな作業手順も、100%安全なものなどありません。

最終的には、作業する人の“意識の違い”が事故との分かれ目なのです。

平成27年度 労働災害防止標語 入賞者

金賞

いい汗も少しの油断で冷や汗に 協和総合管理(株) 岡 田 亜矢子

銀賞

あいまいな 理解と仕事が 事故のもと
中央ビルメンテナンス(株) 岡 部 友 哉

安全は 慣れた作業は確実に 不慣れな作業は慎重に
北海道クリーン・システム(株) 加賀美 澄 子

銅賞

安全作業に先輩なし みんなが毎日1年生
オホーツク美装興業(株) 瀬 尾 純 一

今日だけ 今日だけ ちょっとだけ だけの数だけ 危険あり
北海道クリーン・システム(株) 高 橋 雄 一

そんな事 こんな事でもまず確認 怠る心に事故の影
北海道クリーン開発(株) 寺 田 浩 二

佳作

明るい笑顔 こころにゆとり 今日も一日安全作業
札幌施設管理(株) 及 川 治 之

朝一番 笑顔で挨拶 良い仕事 中央ビルメンテナンス(株) 吉 田 武 彦

あせらずに 心のゆとりが ミスなく 北日本ビル管理(株) 遠 藤 龍 治

焦る心にブレーキを 一歩手前で 危険予知
北海道クリーン・システム(株) 金 澤 友 子

安心と安全の先に待つのは お客様の信頼 (株)ベルックス 高 橋 功 一

安全は一つ一つの積み重ね 基本動作を徹底し 今日も一日 無事故無災害
協和総合管理(株) 高 田 政 俊

急ぐな 焦るな 慌てるな 待っているのは危険だけ
(株)トーショウビルサービス 明 石 穰

うわの空 ゆるんだ気持ちが 事故のもと
東京美装北海道(株)釧路支店 蛭 名 恵

運転は 焦らず無理せず油断せず 協和総合管理(株) 奥 村 直 彦

落ちついて 焦る気持ちが 事故の元
東京美装北海道(株)千歳支店 清水 恵子

体も仕事もしっかりチェック 今日も笑顔の無事故デー
北海道クリーン開発(株) 細川 哲男

決めたこと 守る勇気と続ける努力 ルールを守って 安全作業
日本クリーン北海道(株) 浅田 智子

危険予知 思ったその時 小さな改善 やらずに後悔 大きな災害
北海道クリーン開発(株) 川奈野 法子

決めたこと、守る勇気と続ける努力 基本に忠実、安全作業
(株)アサヒファシリティズ 北海道支店 三倉 知大

声かけて 防げる事故が そこにある
北海道クリーン・システム(株) 正野 菜津美

ゴミ収集 手を入れない 押さない 押し込まない 防ごう針刺し事故
北海道クリーン・システム(株) 真田 智之

先をみすぎて足もと見えす 一步一步が安全作業
札幌施設管理(株) 菅 一茂

スマホ見る その瞬間に 悪魔来る
(株)トーショウビルサービス 高坂 康一

慣れた作業 視点変えたら 危険作業 みんなで見直し 安全作業
北海道クリーン・システム(株) 小川 好恵

慣れた作業に落とし穴 見る目気づく目危険予知
北海道クリーン・システム(株) 前原 かなえ

慣れるほど 忘れてしまうその危険 気持ち引締め安全作業
東京美装北海道(株)釧路支店 田中和也

ミーティング 生かす職場に 事故はなし
北海道クリーン・システム(株) 荒谷 智子

見る目 聞く耳 気づきの心 五感を使って 危険予知
北海道クリーン・システム(株) 名尾 正博

見ない聞かない聞いていない 積もり積もって失う信頼
協和総合管理(株) 斉藤 千秋

もう一度 初心にかえって再確認 基本作業と安全確認
東京美装北海道(株)北見支店 山中 真代

要注意！ 不慣れ・慣れすぎ・急ぎすぎ
東京美装北海道(株)千歳支店 松藤 厚子

労働は 心身ともに 健康で 東京美装北海道(株)北見支店 七条 由香子



各地区協トピックス

札幌 ●経営セミナー

8月7日(金)13:30より16:00まで、ビルメンテナンス会館において、非会員企業(有料による参加)を含む31社・57名の皆様にご参加いただき、毎年実施している札幌地区経営セミナーを実施しました。

北海道協会からも山田会長を始め、逸見副会長や岡田副会長など、役員の皆様方にも熱心に聴講いただきました。

第1部では(公社)全国ビルメンテナンス協会専務理事の興膳 慶三氏を東京よりお招きし、今年6月10日に通知された改正品確法に伴う「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関する

ガイドライン」を中心に、この法改正やガイドラインが業界に与える影響について解説していただきました。

第2部では札幌市財政局管財部契約管理課長の小林 敏彦氏をお招きし、昨年秋に初めて試行導入された札幌市交通局発注の駅舎清掃業務の事例を交え、「札幌市建物清掃業務総合評価一般競争入札制度」について解説いただきました。

参加者アンケートによると、初参加の方も約55%と多く、ほぼすべての方に高評価のご意見をいただくことができました。

また、参加当日は北海道建設新聞社も取材に訪れ、翌日の紙面に「経営セミナー」の様子が掲載されました。



●ボランティア清掃

平成27年10月20日(火)、今年で6回目となる札幌市内にある「児童養護施設」のボランティア清掃を「社会奉仕活動」の一環として実施しました。

19社・81名の会員企業のスタッフが4施設にわかれて参加し、午前9時前から正午過ぎまで、床面のワックス塗布、ガラス清掃等に汗を流しました。

各施設ごとに担当役員が事前に出向き、施設関係者や子どもたちでは普段対応できない部分をヒアリングし、重点箇所を定め、清掃箇所を参加企

業ごとに分担したうえで、実施するようしております。

また、参加企業の皆様には「社会貢献事業参加証明書」を発行しました。

最後に、ボランティアの受入にご快諾いただいた札幌市様及び施設関係者の皆様、参加された会員企業、並びにスタッフの皆様、資機材をご協賛いただきました(株)リンレイ様、(株)セイハン様に心より御礼申し上げます。

来年度以降も、社会貢献事業として継続してまいります。



旭川 ●第10回ビルメン・警備業合同親睦パークゴルフ大会

9月5日(土)グリーンリーフ当麻パークゴルフ場にて男性30名、女性5名が参加して開催されました。

第10回目となる節目の大会の中、日頃鍛えた腕前を存分に発揮し、楽しそうに気持ちの良い汗

をかいていました。

競技終了後、全員で美味しいジンギスカンを食べ、親睦を深め、合せて表彰式を行いました。

あいにくの空模様でしたが参加者は皆、初秋の有意義な1日を過ごしました。



●ビルメン協会親睦ボーリング大会

11月13日(金)ディノスボール旭川にて開催し、14

社50名が参加しました。

競技終了後、場所を移し表彰式を実施、会員相互の親睦を深め有意義な時間を過しました。



北見 ●第12回親睦パークゴルフ大会

9月8日(火)、北見市川東河川敷パークゴルフ場にて、平成27年度ビルメン協会北見地区協議会パークゴルフ大会が快晴の中、5社17名が参加して開催されました。



担当理事の北海道クリーン・システム(株)北見営業所布宮所長の進行のもと、小林泰志北見地区協議会副会長の開会挨拶があり、プレースタート。

珍プレー、好プレー、OB!?!?ありで、懇親を深めながらのひとときとなりました。

釧路 ●清掃奉仕活動

今年の釧路地区協議会では、別海・中標津・根室・釧路、4地区で清掃奉仕活動を実施しました。

- 8月2日(日) 別海地区 …… 中春別保育園
- 8月4日(火) 中標津地区 …… 丸山公園殉公者碑他石碑
- 8月24日(月) 根室地区 …… 駒場保育園
- 8月3日(月) 釧路地区 …… 桜ヶ岡保育園、東部子育て支援センター、新富士保育園、城山保育園

釧路市役所中庭で行われた開会式には、深井会長の挨拶に続き、蛸名釧路市長より、長年に亘る

当協議会の活動、並びに会員の皆さんへの感謝の言葉をいただきました。

引き続き準備運動を行い、それぞれ受け持ちに向かい作業を開始しました。

保育園の清掃は、通常職員の手で行われているため、どうしても高所等は作業できず毎年各園では、私たちの作業を心待ちにしており、今回もガラス清掃の他、換気扇、空調設備等、普段手の届かない箇所を清掃しました。

作業終了後は、各園とも園児からの感謝状、園児の手作りメダルを感謝の言葉と共に受け、会員の皆さん全員、子供たちから元気を分けてもらい、作業の疲れも忘れ、事故無く無事に終了することができました。



根室地区



中標津地区



別海地区



釧路地区



釧路地区



釧路地区

● 障害者雇用に関する研修会

10月15日(木)障害者雇用に関する研修会を会員及び賛助会員並びに非会員、そして警備業協会釧路支部会員併せて38名が参加して開催しました。

当該研修会は共生社会の推進と障害者雇用促進法の改正に伴い、障害者の雇用が一層拡大されることに鑑み、障害者への理解を深めることを主な目的として計画しました。

第1部は北海道鶴野支援学校高等部教諭 湯谷教利様による「障害者雇用の現状と課題」をテーマに知的障害や発達障害の特性、鶴野支援学校の学習内容、就職の現状と課題についてご講演いただき、今まで知らなかった障害等に対する知識を得ることができ、また、雇用するにあたって、受け入れ企業のスタッフの教育、場合によっては作業ルーティンを変える等、ある程度受け入れ態勢

を整備することにより、雇用が安定継続することを学びました。

第2部は釧路公共職業安定所 雇用指導官 堀弘志様による「改正障害者雇用促進法について」をテーマに法律の改正点、障害者を雇用するにあたっての留意事項について解説をいただきました。

第3部は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部 高齢・障害者業務課業務係長 浅井雅裕様による「障害者雇用納付金制度等について」をテーマに制度の解説と助成金の活用事例、就労支援に関する様々な取り組みについて説明を受けました。

釧路地区協議会では、今後も北海道鶴野支援学校の生徒たちが社会で自立していけるようサポートをしていくとともに、一人でも多くの卒業生がビルメンテナンス業に興味を持ち、進路先として選択してもらえるよう支援を継続してまいります。



湯谷講師による講演



堀講師による講演



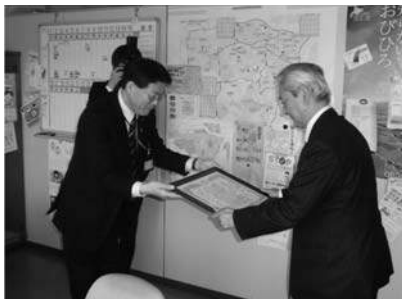
浅井講師による講演

十勝 ● 社会奉仕活動

10月26日(月)午前8時50分より、「十勝地区協議会」恒例の清掃奉仕作業を、帯広市立保育園5施設においてガラス清掃および高所清掃を実施しました。

当日は会員13社、32名が参加し、飯田十勝地区協議会事務局長の挨拶、帯広市役所より感謝の言葉を頂き5施設の保育園に分かれて作業開始となりました。

参加者全員が完成度の高い技術と安全に心がけ無事終了することが出来ました。



苦小牧

●清掃奉仕活動

8月18日(木)13:30より、「苦小牧地区協議会」恒例の清掃奉仕作業を「勇武津資料館及び蝦夷地開拓移住隊士の墓」において、実施しました。

当日は、あいにくの小雨まじりとなりましたが、会員10社、28名が参加し、阿部地区協会長の挨拶

の後、館長から感謝の言葉を頂き、作業開始となりました。

「資料館」「移住隊士の墓」「地藏堂」の各持ち場に分かれ、参加者全員が完成度の高い清掃作業と安全第一を心がけ、協力しあいながら、今年も無事に終了することが出来ました。



函館

●清掃奉仕活動

函館地区協議会では、平成25年度に引き続き、社会福祉法人函館国の子寮の屋内運動場のガラス

清掃と浴室の清掃を、10月28日(木)に株式会社TSC テスコさんの従業員4名で、普段、清掃の出来なかったガラスや浴室の鏡面みがきや床の洗浄を実施しました。



●第27回ボウリング大会

10月8日(金)ラウンドワンにて、函館地区協議会14社42名の参加で第27回ボウリング大会を開催

しました。競技は団体・個人で競い、笑顔があふれる和気藹々とした雰囲気の中で順調に進み気持ちの良い汗をかき、会員相互の親睦を深め有意義な時間を過ごしました。



新 会 員 紹 介

正 会 員



[入 会 月] 平成27年 9 月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 株式会社VICREO
[協会届出代表者] 代表取締役 宇昌 克美
[住 所] 〒060-0009 札幌市中央区北9条西22丁目1番10号
Tel 011-640-8400 fax 011-640-8401

新会員としてご承認頂きました、(株)ヴィクレオと申します。
弊社は昭和39年に総合美装工業(株)として創業、札幌市を拠点として活動してまいりました。創業本来の内外装工事のほか、ビルメンテナンス業・不動産業・ウェルネス事業などの事業を拡大し、幅広く地域社会に貢献して参りました。昨年、創業50年を機に(株)ヴィクレオに名称を変更致しまして、この度北海道ビルメンテナンス協会に入会させて頂きました。会員企業として業界の発展に貢献できるよう精進してまいります。今後とも宜しくお願い致します。



[入 会 月] 平成27年 9 月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 北陽警備保障株式会社
[協会届出代表者] 代表取締役 森本 英雄
[住 所] 〒062-0004 札幌市豊平区美園4条8丁目1番7号
Tel 011-811-5965 fax 011-814-7540

新会員の北陽警備保障(株)と申します。
弊社は昭和49年に創業し、札幌市を拠点として釧路、函館等道内一円で活動してまいりました。この度更なるサービスの向上を図るため北海道ビルメンテナンス協会に入会させていただきました。会員企業として業界の発展に貢献できますよう頑張っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



[入 会 月] 平成27年10月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 株式会社アカシヤビルサービス
[協会届出代表者] 代表取締役 三浦 貴之
[住 所] 〒003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4番34号
Tel 011-812-2827 fax 011-812-2870

新会員としてご承認頂きました(株)アカシヤビルサービスと申します。
弊社は、昭和49年創業以来『社会へのお役立ち』を経営指針におき、“心を込めて丁寧に……お客様に喜ばれる仕事”を心がけ日々精進してまいりました。この度、北海道ビルメンテナンス協会 会員企業様のご指導を頂きながら、更にステップアップしていきたいと考え当協会に入会させて頂きました。会員企業として少しでも業界の発展に貢献できるよう精進してまいりますので今後共よろしくお願い致します。



[入 会 月] 平成27年10月
[所 属 地 区] 旭川地区協議会
[社 名] 有限会社グッドラン
[協会届出代表者] 代表取締役 高森 勝秀
[住 所] 〒078-8343 旭川市東光3条7丁目159番地49
Tel 0166-35-5128 fax 0166-35-8333

新会員として承認頂きました、(有)グッドランと申します。
弊社は平成3年創業のまだまだ若い会社でございます。この度北海道ビルメンテナンス協会に入会させて頂きました。諸先輩方のご指導ご鞭撻をいただきながら業界の発展、企業の成長に貢献できるよう邁進してまいります。今後とも宜しく願いたいいたします。

準 会 員

[入 会 月] 平成27年10月
[所 属 地 区] 北見地区協議会
[社 名] 株式会社ほっきょう 北見営業所
[協会届出代表者] 所長 佐藤 健治
[住 所] 〒090-0043 北見市北3条西5丁目11
Tel 0157-26-6140 Fax 0154-41-1532

ビルメン × ヒューマン × 未来

ビルメンヒューマンフェア'15 in 北海道 Photo よかったしょ!!





出場順番	予実時間	Aコート 出場選手名	Bコート 出場選手名
第1組	9:00~9:30	出口 聖次(高松)	小田原 亨(北海)
第2組	9:30~10:00	青木 郁夫(高松)	大塚 智広(中京)
第3組	10:00~10:30	金谷 圭祐(北海)	藤田 司(東北)
第4組	10:40~11:10	中井 貴輔(高松)	伊藤 亮二(北海)
第5組	11:10~11:40	岡村 琢弥(高松)	志村 隆子(高松)
第6組	11:40~12:10	丸谷 貴勲(高松)	小池 裕介(中京)
第7組 ~ 第11組 閉会式			
第7組	12:00~12:30	藤原 貴徳(高松)	中内 英一(高松)
第8組	12:30~13:00	長池 裕司(高松)	松尾 慎一(高松)
第9組	13:00~13:30	吉岡 恵美子(高松)	磯本 幸也(北海)
第10組	13:30~14:00	山本 和志(高松)	宮川 愛子(中京)
第11組	14:00~14:30	竹田 成宏(高松)	堤井 百壽(北海)





※写真は、北海道協会広報委員と地区協議会広報担当者が撮影したものです。

会員の皆様へ

ビルメンひろば 作品募集!!

[デジカメ写真] の部

北海道各地の名所旧跡、各地の風景、ペット、植物園芸等、趣味、スポーツ等の作品を募集しています。

採用された作品は、北翔の「表紙」や「ビルメンひろば」に掲載いたします。

(デジカメ写真サイズは 1枚5メガ以内、作品には簡単なコメントを添えて)

[文芸作品] の部

・短歌／俳句／川柳 1回に各5点まで

・エッセイ

随筆／随想／業務の体験談等 (題材自由) 1200文字以内

◎ 作品はメールにて連絡先を明記しお送り下さい。

(連絡先・会員企業名・氏名・連絡先電話番号)

応募受付メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

◎ 締 切 随 時

※ 採用された作品には、記念品を進呈いたします。

※ 採否並びに添削は編集部に一任下さい。

※ 応募いただいた作品は、採用・不採用を問わず返却いたしません。

問い合わせ先 TEL 011-615-1100 (北翔 事務局)

編集後記

◎ あけましておめでとうございます。

皆様には清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

◎ 巻頭、北海道知事 高橋はるみ氏、札幌市長 秋元克広氏、(公社)全国ビルメンテナンス協会 一戸隆男氏から新年のご挨拶を頂き、厚くお礼申しあげます。

◎ 北海道で初開催しました、ビルメンヒューマンフェア'15 in 北海道の模様、東北・北海道BM協議会 (北海道札幌市)、第53回優良従業員表彰、労働安全衛生大会、労働災害防止論文・標語の入選作品を掲載しました。

◎ 今回の“ビルメンひろば”は、広報委員、各地区協議会広報担当者が、ヒューマンフェア'15 in 北海道の模様を、Photo よかったしょ!!として 特集しました。撮影に協力いただき誠にありがとうございました。

編集責任者 広報委員長 川 口 孝 志

建築物を利用される人々の安全・衛生、快適な環境を維持・改善するため、その場所で働いている人達等に対し、法律に基づく従事者研修等を主に実施している研修センターです。



一般財団法人
北海道建築物衛生管理研修センター

〒060-0003
札幌市中央区北3条西17丁目2番3号 ビルメンテナンス会館
TEL (011) 615-1100 / FAX (011) 615-7055

”魅せる清掃”を通じてビルメンテナンスの本質を
社会に伝え、業界発展に貢献します。



環境美化用品総合メーカー

TERAMOTO

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・埼玉・横浜・広島・福岡
<http://www.teramoto.co.jp/>

ISO9001 八尾工場
認証取得 成田工場

ISO14001 八尾サイト(八尾工場)
認証取得 成田サイト(成田工場・成田物流センター)



CORELEX 業務用トイレに最適!

3倍巻ロールの〈コアレス〉だから、こんなに便利でお得



- ① 取り替え手間が3分の1
- ② 収納スペースも2分の1
- ③ トイレがつまる原因となるボール芯が無く、ゴミも減量。

更にカギ付きだから
盗難の心配は
ありません。

トイレットペーパー・ティッシュペーパー・タオルペーパーのことなら

道栄紙業株式会社 札幌営業所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1番14号 コアレックスビル 4階
TEL(011)633-2323 FAX(011)633-4555



トイレ洗浄剤

トイレクリーナー 酸性 トイレクリーナー 中性



(酸性タイプ)



(中性タイプ)

- もちやすいボトルで、タレずに吐出量がコントロールできる経済的ノズル
- 粘性タイプで垂れ落ち、飛び散りが少なく泡切れもよいので作業性良好です。
- 界面活性剤と特殊微粒子研磨剤配合で便器の汚れ、水垢、黄ばみを簡単に除去します。
- 除菌剤配合。 ● さわやかなフローラルミントの香り。

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>

大阪本社	大阪市中央区道修町 1-7-1(北浜 TNKビル)	06(6228)2911	東京本社	東京都千代田区神田錦町 2-3(竹橋スクエア)	03(5259)5739
札幌支店	札幌市東区北八条東 3-1-1(宮村ビル)	011(731)0351			



清掃用品・資機材のことなら・・・

SEIHAN 株式会社 セイハン

Seihan, we promise you being honest, positive, quick, and smiling all the time.

本 社 〒003-0832 札幌市白石区北郷2条2丁目2-14
 TEL:011-873-2000 FAX:011-873-2100
 旭川営業所 〒078-8243 旭川市豊岡13条6丁目3-6
 TEL:0166-35-7878 FAX:0166-34-7588
 仙台営業所 〒984-0051 仙台市若林区新寺3丁目10-36
 TEL:022-792-5211 FAX:022-792-5220
 東京事業部 〒130-0012 東京都葛飾区東新小岩1丁目15-19
 TEL:03-6577-7201 FAX:03-3691-0887
 台北事業部 台北市中山北路一段72号12F
 TEL:866-02-2567-7172

人と地球を守る
 やさしい環境づくりに。

SEIHAN



ホームページもございます。よろしければ是非、検索してみてください。

www.seihan.biz

検索 **かきかち**



ウェットバキューム

TASKI バキューマツト 220T JBMA

平成25年度より採用

- ▶ ビルクリーニング技能検定実技作業試験 (公益社団法人全国ビルメンテナンス協会実施)
- ▶ ビルクリーニング科単一等級技能士コース訓練 (一般財団法人建築物管理訓練センター実施)

KING evolution

定期管理の新たなステージへ
 進化するキングシリーズ



新処方 × FEMS

ステンレスが、美しくよみがえる。

ステンレスクリーニングが進化しました。簡単な作業で、ムラや曇り、クスマのない元の美しい表面に仕上げます。



ステンレス クリーン&ポリッシュ 65mL

ステンレス リフレッシュA 500mL

ステンレス 中和剤B 2L

www.cxs.co.jp

▶ 今すぐクリック

シーバイエス株式会社

●札幌営業所 / 〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7-1 (札幌流通倉庫ビル) TEL.011-817-6765 FAX.011-817-6768

大切な場所には、きっと。

CXS

生活と環境に「キレイ」を届ける



刷子及び清掃用品の製造並びに販売

タケヤ刷子工業株式会社

各種刷子/業務用ワックス・洗剤/清掃用資機材/厨房衛生用品他 <http://www.takeyaburashi.co.jp>

本社	〒060-0031	札幌市中央区北1条東2丁目4番地	TEL(011)221-3116	FAX(011)241-0036
函館営業所	〒040-0072	函館市亀田町20番10号	TEL(0138)41-3480	FAX(0138)41-9004
旭川営業所	〒078-8218	旭川市8条通18丁目右7号	TEL(0166)34-6100	FAX(0166)34-6700
帯広営業所	〒080-0801	帯広市東1条南20丁目1番1	TEL(0155)27-1681	FAX(0155)22-0191
東京営業所	〒343-0844	埼玉県越谷市大間野町4丁目155	TEL(048)986-1351	FAX(048)989-0878
北海道工場	〒072-0006	美唄市東5条北9丁目3番18号	TEL(0126)63-3961	FAX(0126)63-3962

世界初! 洗浄プログラム制御

鍵管理システム搭載で均一清掃を実現



業務用自走式床洗浄機
BR 45/40 W Bp プレミアム



違いを生む ケルヒャーの床洗浄機

■鍵管理システムで均一な清掃が可能

世界初の鍵管理システム(KIK)を採用。2種類の鍵で権限を分け管理者が清掃内容を設定し、作業者は設定の範囲内で清掃を行います。作業者を選ばずどなたでも均一な清掃結果が得られます。



■簡単操作で効率よく清掃

自走式のため、作業の際や移動時の負担を軽減します。また、作業者が操作するスイッチ類は色分けされており、操作ミスを防止します。

■経済性にすぐれた洗剤節約システム

洗剤を必要な量だけ直接ボトルから投入できるので、無駄がなく経済的です。また、タンクが汚れないので、後処理の手間がありません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

札幌支店 TEL:011-879-2181

〒003-0871 北海道札幌市白石区米里1条2丁目10番6号

ホームページ <http://www.karcher.co.jp>

KÄRCHER®

makes a difference

リンレイ さらに進化したRook17シリーズ

Rook17快をさらに進化させた「Rook17快α(アルファ)」とベーシック&ハイスペック コンパクト機「Rook17 ZERO(ゼロ)」の2機種で皆様の声にお応えします。

インテリジェント サイレンス システム搭載。

ALPHA SOUND

ALPHA POSITION

ZERO POSITION

MAINTENANCE FREE BATTERY

充実した基本性能と使いやすさを追求。

Rook17 ZERO

ALPHA SYSTEM
BASIC & HIGH SPEC COMPACT

 株式会社 **リンレイ** 業務製品事業本部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-10-13 TEL.03(3541)4851(代)・東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571・名古屋 052(581)8241
札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868・広島 082(232)2333・高松 087(834)2738・福岡 092(883)7000
<http://www.rinrei.co.jp/>

美しく、爽な環境をつくる

清掃用品ならなんでも揃う

CLEAN & BEAUTY

HOKUSEI

北清産業株式会社

〒001-0903 札幌市北区新琴似3条2丁目
TEL (011) 761-8151(代)
FAX (011) 764-4693

豊富な品揃えで、現場をサポート！

レンタル品目

高所作業車・橋梁点検車・トラック各種・
仮設機材・仮設ハウス・測量機器・照明器
土木機械・発電機・溶接機・コンプレッサー・
高圧洗浄機・フォークリフト・荷役機械・
無線機・除雪機・暖房機・電設機材etc...

様々な現場に対応出来る様 各種取り揃えております！！

業務用乾湿両用クリーナー、テナントスイーパー、高圧洗浄機(温水・防音型・100v)など。



高所作業車 12m~30m
現場にあった機種をご用意致します！



パーソナルリフト 7~12mなど
各種簡易足場も取り揃えております。



多機能伸縮式作業台(長谷川工業)
高さ 236~406cmに対応可能！階段段差も解消できます。

美装用品~プロ用フロアメンテナンス機器~



エスケーリース株式会社

SK レンタル受付(本社)
TEL:011-775-4141
LEASE FAX:011-775-4588

本社:札幌市北区百合が原6丁目1番20号 西センター:札幌市西区発寒17条3丁目3 白石センター:札幌市白石区米里3条2丁目7-2
大谷地センター:札幌市白石区流通センター4丁目4-32 hp: <http://www.sk-lease.co.jp> mail: head@sk-lease.co.jp

WetVac | F-30Li



Clean Innovation Company

ペンギンワックス株式会社

本社・工場 大阪市東成区東中本3-10-14 (〒537-0021)

CORDLESS コードレスウェットバキューム(固定スクイジー) ホームページがリニューアルしました！ [ペンギンワックス](#) [検索](#)

圧倒的な作業効率！



別売でツールキット
もごさいます。

連続稼働 ***① 70分** 充電時間 ***② 60分**

*①、②はバッテリー-LV925,充電器 CLV9251を使用した場合です。

●バッテリー交換も簡単



●汚水排出方法は2パターン



- ・バッテリーを搭載したままでも2階、3階へラクラク持ち運び！
- ・電源コードの制約から解放され洗浄作業が早く、効率的に！
- ・連続長時間作動、急速充電バッテリー交換も簡単！
- ・電源を探したり、ブレーカーを落とす心配も無用！

Allway Liコードレスマシンシリーズ
バッテリー、充電器が共有できて便利！



●コードレスブロワー BL-24Li ●WetVac H-12Li ●BP-130Li/150Li

スプレーするだけで作業不要！カーペットのシミ消しに

こんなにひどいシミもスプレーするだけ

YCM - 水性シミ消し α

シミにスプレーして放置するだけで、拭き取り作業は不要です。飲料や食べこぼし跡の色素を分解して漂白します。食堂や休憩所など、食べこぼしのシミが多い場所に最適です。

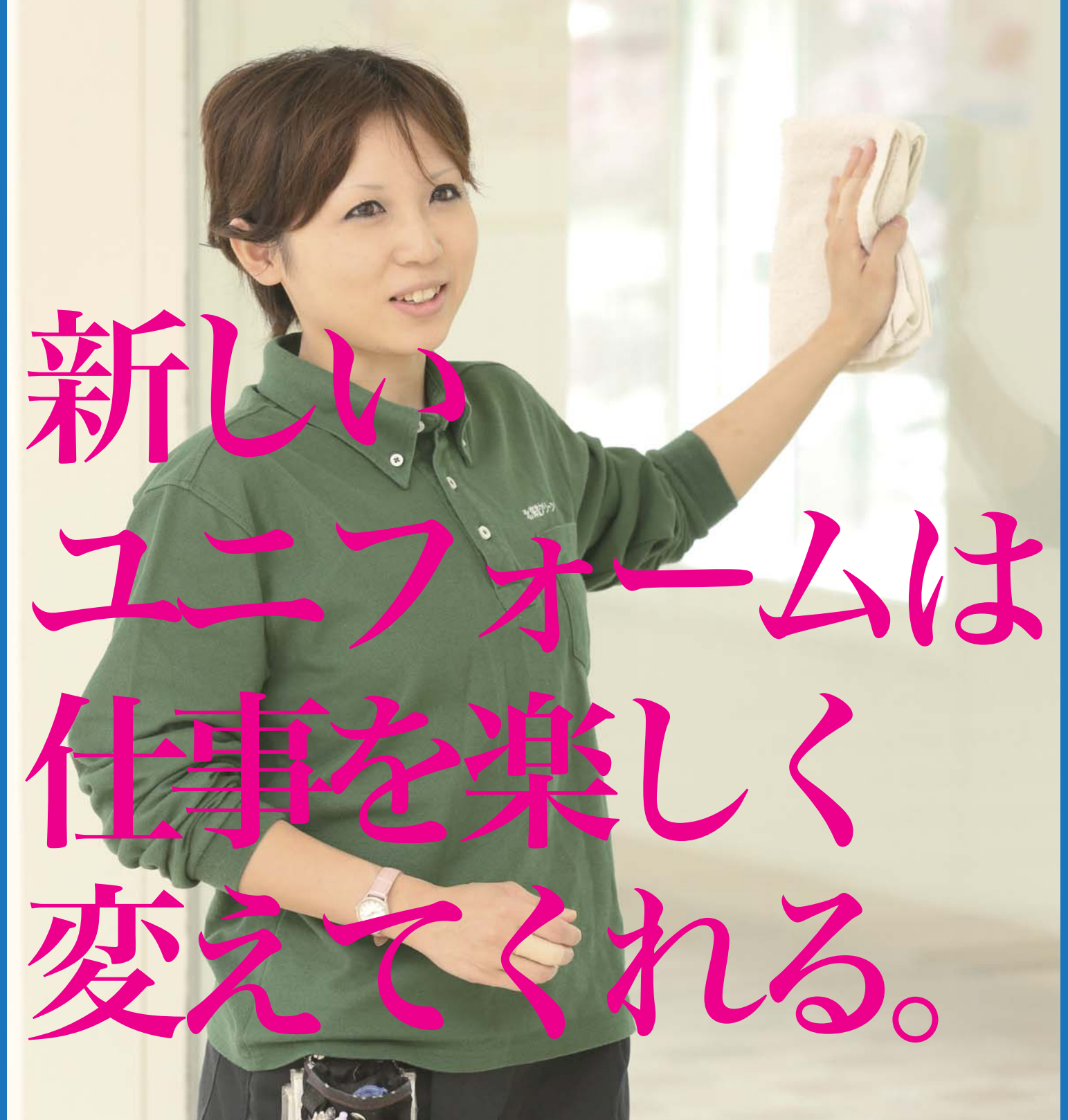
用途：コーヒー、ジュース、ワイン、血液、汗、
タバコのヤニなど水溶性のシミに



ユシロ化学工業株式会社

北海道営業所 TEL: 0144-56-5871 FAX: 0144-56-5872

〒053-0022 北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧第一生命ビルディング 3 階



新しい
ユニフォームは
仕事を楽しく
変えてくれる。



ユニフォームのことなら、私たちへご相談ください。



UNIFORM IDENTITY
IMAGE WORK

〒003-0002

札幌市白石区東札幌2条1丁目5番17号カンコー学生服ビル
TEL:011-374-4811 FAX:011-374-4855

詳しくはこちらをチェック!

イメージワーク

検索 



ほくしょう
北翔 (新年号)通巻107号 平成28年1月20日

発行所 一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会
〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目2番3号
ビルメンテナンス会館
電話(011)615-1100・FAX(011)615-7055

発行 代表者 山田 春雄

編集者 広報委員会